

5. 汚染土壌処理業

5.1 汚染土壌処理施設

1) 汚染土壌処理施設の許可・届出等の状況

平成 27 年 3 月 31 日現在で許可されている汚染土壌処理施設の件数を表 5-1 に、届出等の件数を表 5-2 に示す。許可されている事業所は 102 件で、施設件数は、「分別等処理施設」と「埋立処理施設」が同数で最も多く、次に「浄化等処理施設（浄化）」が多かった。

表 5-1 汚染土壌処理施設の許可件数（平成 26 年度末時点）

（件数：複数回答有）

許可件数	特定有害物質別 許可件数																										
	VOC（第一種）										重金属等（第二種）							農薬等（第三種）									
	四塩化炭素	一・一・二ジクロロエタン	一・一・ジクロロエチレン	シス・一・二ジクロロエチレン	一・三ジクロロプロペン	ジクロロメタン	テトラクロロエチレン	一・一・一トリクロロエタン	一・一・二トリクロロエタン	トリクロロエチレン	ベンゼン	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	シアン化合物	水銀及びその化合物	アルキル水銀	セレン及びその化合物	鉛及びその化合物	砒素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	ほう素及びその化合物	シマジン	チオベンカルブ	チウラム	ホリ塩化ビフェニル（PCB）	有機りん化合物	
①浄化等処理施設（浄化）	34	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
②浄化等処理施設（溶融）	6	4	4	4	5	5	5	5	5	5	6	6	6	4	4	6	6	6	6	6	6	6	5	6	2	5	
③浄化等処理施設（不溶化）	13	2	2	2	2	2	2	2	2	2	12	13	10	8	9	12	13	13	12	12	0	0	0	0	0	0	
④セメント製造施設	19	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	18	18	0	0	0	18	19	19	19	18	0	0	0	0	0	
⑤埋立処理施設	37	33	33	33	33	33	33	33	33	33	37	37	37	35	34	35	37	37	36	34	33	33	33	29	33		
⑥分別等処理施設	37	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33	35	28	4	5	33	35	35	35	35	17	17	17	1	17		
合計	102	62	63	62	63	63	64	64	63	63	64	64	133	134	105	62	63	130	137	136	132	127	68	67	68	36	67

注）1つの事業所で複数の施設を所有しているため、施設数の合計と事業所数は一致しない。

表 5-2 汚染土壌処理施設別の届出等の件数

	事故の届出	変更		改善命令	休止	廃止	再開	許可の取消し	
		届出	許可						
①浄化等処理施設（浄化）	H26 累計	0 (2)	49 (204)	6 (30)	1 (1)	1 (5)	1 (5)	0 (4)	0 (0)
②浄化等処理施設（溶融）	H26 累計	0 (0)	8 (27)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)
③浄化等処理施設（不溶化）	H26 累計	0 (2)	23 (76)	4 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)
④セメント製造施設	H26 累計	0 (0)	15 (34)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑤埋立処理施設	H26 累計	0 (0)	24 (58)	6 (18)	0 (0)	1 (3)	3 (6)	0 (0)	0 (0)
⑥分別等処理施設	H26 累計	0 (2)	55 (235)	7 (31)	1 (1)	1 (6)	0 (2)	0 (4)	0 (0)

2) 都道府県・政令市別の汚染土壌処理施設の状況

平成 27 年 3 月 31 日現在で許可されている都道府県・政令市別の汚染土壌処理施設の状況を表 5-3 に示す。許可されている浄化等処理施設は、「中部地区」が最も多く、セメント製造施設は「九州地区」が最も多かった。また、埋立処理施設は、「東北地区」が最も多く、分別等処理施設は、「近畿地区」が最も多かった。

表 5-3 都道府県・政令市別の汚染土壌処理施設（平成 26 年度末時点）

(件数)

都道府県・政令市	浄化等処理施設				製造施設	処理立施設	処理立施設等		
	浄化	溶融	不溶化	計					
北海道地区	北海道	0	0	0	0	1	2	0	
	札幌市	0	0	0	0	0	0	0	
	函館市	0	0	0	0	0	0	0	
	旭川市	0	0	0	0	0	2	0	
	計	0	0	0	0	1	4	0	
東北地区	青森県	0	0	0	0	1	0	0	
	青森市	0	0	0	0	0	0	0	
	八戸市	0	0	0	0	1	0	0	
	岩手県	0	0	0	0	2	0	0	
	盛岡市	0	0	0	0	0	0	0	
	宮城県	0	0	0	0	0	0	0	
	仙台市	0	0	0	0	0	1	1	
	秋田県	3	0	2	5	0	2	1	
	秋田市	0	0	0	0	0	1	0	
	山形県	1	0	1	2	0	3	1	
	山形市	0	0	0	0	0	1	0	
	福島県	0	0	0	0	0	0	0	
	福島市	0	0	0	0	0	0	0	
	郡山市	0	0	0	0	0	0	0	
	いわき市	0	0	0	0	0	0	0	
	計	4	0	3	7	4	8	3	
関東地区	茨城県	0	2	0	2	0	1	0	
	水戸市	0	0	0	0	0	0	0	
	つくば市	0	0	0	0	0	0	0	
	栃木県	0	0	0	0	0	0	0	
	宇都宮市	0	0	0	0	0	0	0	
	群馬県	0	0	0	0	0	0	0	
	前橋市	0	0	0	0	0	0	0	
	高崎市	0	0	0	0	0	0	0	
	伊勢崎市	0	0	0	0	0	0	0	
	太田市	0	0	0	0	0	0	0	
	埼玉県	0	0	0	0	1	0	0	
	埼玉市	0	0	0	0	0	0	0	
	さいたま市	0	0	0	0	0	0	0	
	川越市	0	0	0	0	0	0	0	
	熊谷市	0	0	0	0	1	0	0	
	川口市	0	0	0	0	0	0	0	
	所沢市	0	0	0	0	0	0	0	
	春日部市	0	0	0	0	0	0	0	
	草加市	0	0	0	0	0	0	0	
	越谷市	0	0	0	0	0	0	0	
	千葉県	2	0	0	2	0	2	2	
	千葉市	0	0	0	0	0	0	0	
	市川市	0	0	1	1	0	0	2	
	船橋市	0	0	0	0	0	0	0	
	松戸市	0	0	0	0	0	0	0	
	柏市	0	0	0	0	0	0	0	
	市原市	1	0	0	1	0	0	0	
	東京都	0	0	1	1	0	1	1	
	八王子市	0	0	0	0	0	0	0	
	町田市	0	0	0	0	0	0	0	
	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	
	横浜市	1	0	0	1	0	0	2	
	川崎市	3	0	2	5	1	0	3	
	相模原市	0	0	0	0	0	0	0	
	横須賀市	0	1	0	1	0	0	0	
	平塚市	0	0	0	0	0	0	0	
	藤沢市	0	0	0	0	0	0	0	
	小田原市	0	0	0	0	0	0	0	
	茅ヶ崎市	0	0	0	0	0	0	0	
	厚木市	0	0	0	0	0	0	0	
	大和市	0	0	0	0	0	0	0	
	新潟県	0	0	0	0	2	1	0	
	新潟市	0	0	0	0	0	0	0	
	長岡市	0	0	0	0	0	0	0	
	上越市	0	0	0	0	0	0	0	
山梨県	0	0	0	0	0	0	0		
甲府市	0	0	0	0	0	0	0		
静岡県	0	0	0	0	0	1	0		
静岡市	0	0	0	0	0	0	0		
浜松市	0	0	0	0	0	0	0		
沼津市	0	0	0	0	0	0	0		
富士市	0	0	0	0	0	0	0		
	計	7	3	4	14	5	6	10	
中部地区	富山県	0	0	0	0	0	0	0	
	富山市	2	0	2	4	0	2	0	
	石川県	0	0	0	0	0	0	0	
	金沢市	0	0	0	0	0	1	0	
	福井県	0	0	0	0	0	0	0	
	福井市	0	0	0	0	0	0	0	
	長野県	0	0	0	0	0	0	0	
	長野市	0	0	0	0	0	0	0	
	松本市	0	0	0	0	0	0	0	
	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	
	岐阜市	0	0	0	0	0	0	0	
	中津川市	0	0	0	0	0	0	0	
	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	
	岐阜市	0	0	0	0	0	0	0	
	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2	0	0	2	0	0	0	
九州地区	福岡県	0	0	0	0	0	4	0	
	北九州市	1	0	0	1	1	1	0	
	福岡市	0	0	0	0	0	0	0	
	久留米市	0	0	0	0	0	0	0	
	佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	
	佐賀市	0	0	0	0	0	0	0	
	長崎県	0	0	0	0	0	0	0	
	長崎市	0	0	0	0	0	0	0	
	佐世保市	0	0	0	0	0	0	0	
	熊本県	1	1	0	2	0	1	1	
	熊本市	0	0	0	0	0	0	1	
	大分県	0	0	0	0	1	1	0	
	大分市	0	0	0	0	0	0	0	
	宮崎県	0	0	0	0	0	2	0	
	宮崎市	0	0	0	0	0	0	0	
	鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	
	鹿児島市	0	0	0	0	0	0	0	
	那覇市	0	0	0	0	0	0	0	
		計	2	1	0	3	6	6	4
	総計		34	6	13	53	19	37	37

3)汚染土壌処理施設で処理された量

平成 26 年度に汚染土壌処理施設で処理された量の結果を図 5-1 に示す。

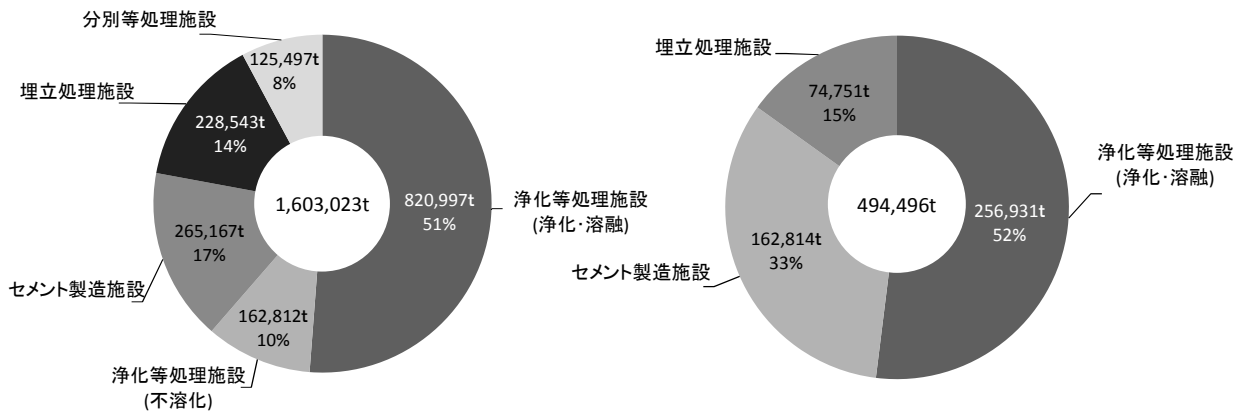
一次処理において、法対象土壌は約 160 万トン、法対象外土壌は約 302 万トンの合計約 462 万トンであった。

一次処理の内訳を見ると、法対象土壌については、浄化等処理施設（浄化・溶融）約 82 万トン（51%）、セメント製造施設約 27 万トン（17%）、埋立処理施設約 23 万トン（14%）の順であった。法対象外土壌については、セメント製造施設約 126 万トン（42%）、分別等処理施設約 88 万トン（29%）、浄化等処理施設（浄化・溶融）約 52 万トン（17%）の順であった。

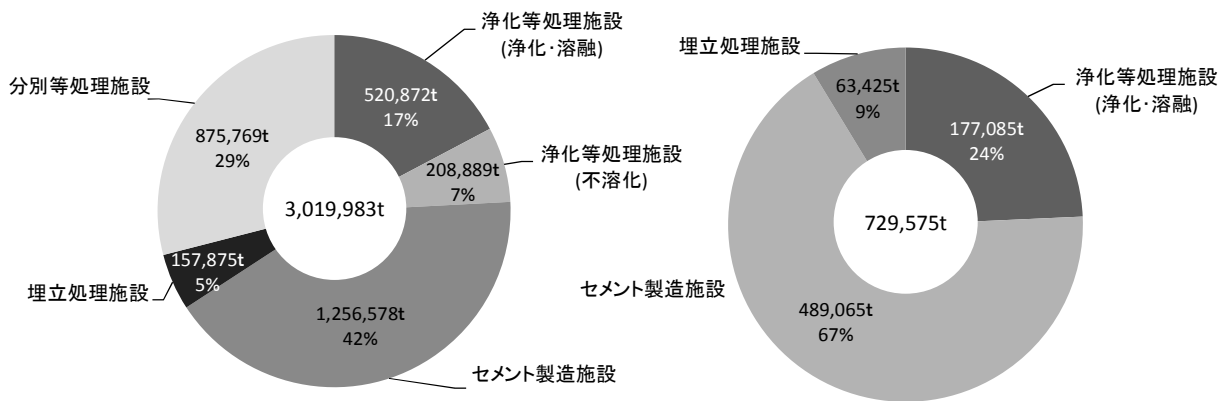
二次処理において、法対象土壌は約 49 万トン、法対象外土壌は約 73 万トン、合計約 122 万トンであった。

二次処理の内訳を見ると、法対象土壌については、浄化等処理施設（浄化・溶融）約 26 万トン（52%）、セメント製造施設約 16 万トン（33%）埋立処理施設約 7 万トン（15%）の順であった。法対象外土壌については、セメント製造施設約 49 万トン（67%）、浄化等処理施設（浄化・溶融）約 18 万トン（24%）、埋立処理施設約 6 万トン（9%）の順であった。

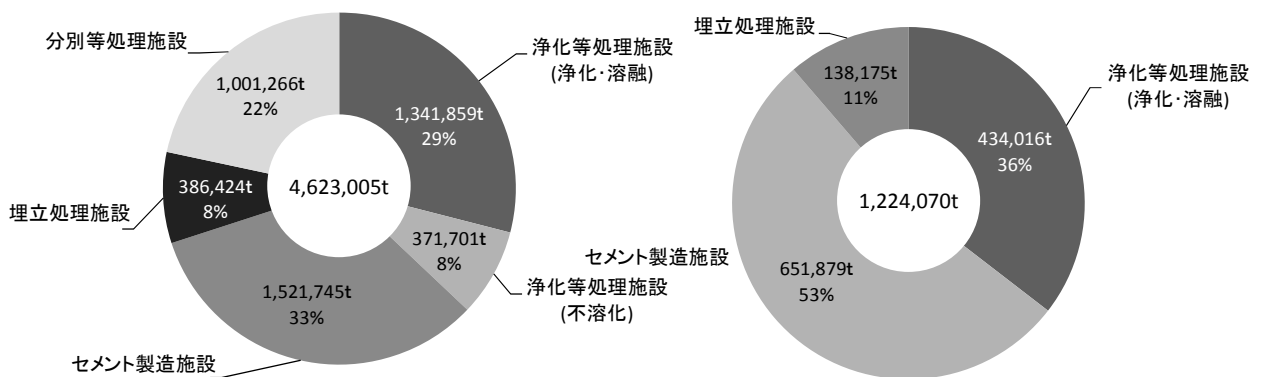
(ア) 法対象土壌 (左：一次処理、右：二次処理)



(イ) 法対象外土壌 (左：一次処理、右：二次処理)



(ウ) 合計 (左：一次処理、右：二次処理)



※各土量は、自治体が把握している処理量をまとめたもの

図 5-1 汚染土壌処理施設で処理された土量 (平成 26 年度)